

Sクリートカラー（新タイプ）

シラン・シロキサン系コンクリート調色保護材

施工要領書

BIRCS

株式会社バークス環境

概 要

S クリートカラーは高分子シリコン（シラン・シロキサン）を主成分としたコンクリート打ち放し向けの半透明調色材です。耐候性・退色性・施工性に優れ、コンクリート打ち放しの風合いを損ねず、コンクリートの劣化による変色や補修跡などを自然な風合いで色調整できます。

特 長

- 1、 水性無機質塗料ですので、臭気が無く安全です。
- 2、 超速乾性です。1～2時間で乾燥します（20℃）。
- 3、 Sクリートアップ（コンクリート改質・強化剤）との併用により強固にコンクリートを保護できます。
- 4、 コンクリートに良く浸透し定着しますので、塗膜感が無く自然な感じで仕上がります。
- 5、 シラン・シロキサン成分で形成されている為、防水性、浸透性に優れ、コンクリートを長期間保護できます。
- 6、 色は標準的なコンクリート色になっていますが、別売りで白・黒・黄色の顔料にて調色できます。

施工可能な素地

コンクリート・モルタル・セメント系ボード等

施工前確認事項

- 1、 下地の汚れ、カビ、レイタンスは高圧洗浄等にて除去してください。酸洗いをした場合は必ずアルカリ中和処理をしてください。アルカリ中和処理は弊社にて、SCクリーナーをご用意しております。
- 2、 雨天時の施工は避けてください。施工可能な気温は5度以上です。
- 3、 クラック・ジャンカ・爆裂などは事前に補修してください。クラックや表層劣化は弊社Sクリートクラック工法にて補修することをお勧めします。
- 4、 下地にフッ素系クリアーが塗布されている場合はSクリートカラーが付着しませんので、サンダーにて除去してください。

施工用具

ローラー（マイクロファイバーローラー）・刷毛・固めのスポンジ・フェルト材・ボカシ専用ローラー・バケツ・攪拌機・計量器等

施 工

1、養生

ガラス、アルミサッシ、金属、その他一般的な養生をしてください。

2、下地処理

- ・カビ、藻、レイトンス等は高圧洗浄してください。
- ・クラックはSクリートクラック工法（別紙仕様書参照）にて補修してください。
- ・爆裂補修はペガサビン（浸透性防錆材）を使用し、セルガード工法（別紙仕様書参照）にて補修してください。

3、調合

標準調合はSクリートカラー主材 8Lを良く攪拌してから、清水 6～8Lを添加し、攪拌機にて再度十分に攪拌してください。隠ぺい性を増強する場合は清水を 4L程度に減量してください。色調整する場合は別途液体無機顔料（白・黒・黄色）を少しずつ加えていき調色してください。

4、本施工（塗布）

- ・下地補修が終了後、マイクロファイバーローラー（毛丈 18mm）等にてSクリートアップを全面に十分に2回塗布します。1回目と2回目の間隔は2時間以上あけてください。Sクリートアップを塗布することで、プライマー効果、改質・強化、クラック・エフロ防止、防水性向上の効果が得られます。

標準塗布量：200 c c 以上 / m²

- ・調合したSクリートカラー主材を、マイクロファイバーローラー（毛丈 13mm）等にて、全面に均一に追っかけ2回塗布します。

標準塗布量：200～300 c c / m² 50～80 m² / 缶

- ・ボカシを入れる場合は、全面に標準色（グレー色、日塗工 N-80 程度）を2回塗布した後、水配合を 6～8L程度にて調合し、別途液体黒顔料を少量ずつ加えていき、濃い目のグレー色（日塗工 N-75 程度）に調色し、フェルト材か固めのスポンジを使用し、ランダムにはたき塗りして仕上げてください。

はたき塗り塗布量：30～40 c c / m²

- ・部分的に塗布する場合は、既存のコンクリート色にあわせて調色します。発色は乾燥後でないと確認できませんので、事前にテスト塗りをして下さい。本材料は速乾性ですので、30分程度で色合いの確認が可能です。
- Sクリートカラーは標準的な薄めのコンクリート色に調合されていますので、通常はそのまま使用可能です。

5、オプション施工

① Sクリートクラック工法

- ・クラックをUカットせず目立たなく補修できます。(注入工法)
- ・表層劣化がありザラザラになっている箇所や、ヘアークラックの補修ができます。
(表面被覆工法)

② ペガサビン・セルガード工法

- ・コンクリートの鉄筋の錆が懸念される場合は、コンクリート表層からペガサビンを塗布することで、防錆処理が可能です。塗布量：300～400 c c / m² (2～3回塗布)
- ・爆裂補修の際もペガサビン・セルガード工法 (モルタル混入工法) をご使用ください。

6、注意事項

- ・施工可能な温度は5℃以上です。
- ・雨天での施工は避けてください。
- ・新築コンクリートでの離型剤の残留は極力除去してください。
- ・フッ素系塗料が施工されているコンクリートのリフォームの場合はSクリートカラーは付着しませんので、フッ素塗膜をサンダーにて除去してください。